

別紙様式1

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		2・東書	第1・2・3学年	地図・002-72	新編 新しい社会 地図
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、海洋や極地に着目した地図から地球全体の姿を比較したり、地形や気候を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、学習テーマに沿って、地域や経年変化を比較したり、国名や主要な都市名、自然地名を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界の地形や気候、人々の生活や文化、産業などを調べたり、複数の資料から特色を読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の祭りや伝統工芸品などを調べたり、領土をめぐる問題を抱えている島々を地図や写真で示し、日本の領域を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、縮尺を100万分の1に統一した地図から、距離感や地形を比較したり、様々なスケールで日本の土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、地形、降水量、人口分布、土地利用などの主題図から基本的な情報を読み取ったり、日本で起こりやすい災害を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて捉えたり、考えを広げたりするなどの学習活動が取り上げられている。 				
学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、三分野の学習に活用できる主題図において、現代の諸課題に関する資料を掲載するとともに、歴史に関する場所を示す「歴史の舞台」を充実するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「世界の諸地域」は、61ページ、「日本の諸地域」は、64ページ、「資料・統計等」は、51ページであり、総ページは176ページで、前回より約8%減となっている。 				
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「江戸・東京の鳥瞰図」など、歴史や地形を視覚的にとらえることができる見開き全体を使った資料を掲載したり、調べ学習や修学旅行で活用できる地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ SDGsをテーマにしたページに関連資料を掲載したり、地図の活用法や学習を深める問い合わせを提示した「Bee's eye（ビーズアイ）」のコーナーを設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むができるよう工夫がなされている。（全学年） ○ 全ての生徒にとって、視認性の高いユニバーサルフォントを使用したり、グラフや地図などでは、見分けやすい色を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年） 				
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、北方領土を拡大地図で掲載しており、各島々の位置や形状が扱われている。また、旭川市で観測された氷点下41℃の記録や1年間の霧が生じる日数が扱われている。 ○ I C Tの活用については、二次元コードを掲載し、一般図、衛星写真、地理院地図等を3D地球儀だけでなく平面地図として見ることができるよう工夫がなされている。また、「社会科デジタルマップ」を掲載し、世界や日本の自然、宗教などの情報を知ることができるよう工夫がなされている。 				
指導上の配慮等					

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携による指導については、巻頭に世界の国や首都を示した世界全図、巻末に日本の都道府県と都道府県庁所在地を示した日本全図を掲載し、小学校での学習を振り返ることができるよう配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、「歴史の舞台」の記号を地図上に示したり、修学旅行でも活用できる地図を掲載したりするとともに、歴史や公民と関連が深い資料にマークを付ける工夫がなされている。また、世界の州、日本の地域ごとに「基本資料」を設け、各地域の自然環境や土地利用、降水量などの資料を掲載し、三分野全ての学習で活用できるよう工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、1月と7月の降水量を表す地図の掲載や、大阪駅北側の土地利用の変化を比較させる活動を位置付けるとともに、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」のアイコンを設け、複数の資料を関連させて見ることができるよう工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、世界の各州・日本の各地方のページに、地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を共通して掲載する配慮がなされている。
その他	

別紙様式1

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		46・帝国	第1・2・3学年	地図・046-72	中学校社会科地図
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界全図」において、日本中心の地図とヨーロッパ中心の地図を比較したり、地域の時差を調べたりする活動 ・「世界州別図」において、同じ縮尺の図から地域の特色を比較したり、世界各地の環境問題の取組を調べたりする活動 ・「世界の資料図」において、世界各州の自然環境や生活・文化、歴史、産業などを調べたり、世界と日本とのつながりを読み取ったりする活動 ・「日本全図」において、各地の伝統工芸品や世界文化遺産を調べたり、北方領土、竹島、尖閣諸島についての資料から日本固有の領土を読み取ったりする活動 ・「日本地域別詳細図」において、地域の変化の様子を捉えられるよう、昔と今の地域の様子を比較したり、50万分の1図において、土地利用を読み取ったりする活動 ・「日本の資料図」において、自然、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図から分布の特徴を読み取ったり、自然災害や防災の取組を調べたりする活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「地図で発見！」のコーナーを設け、地理的な見方・考え方を働かせる問いを追究したり、考えを説明したりするなどの学習活動が取り上げられている。 				
学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、歴史的分野及び公民的分野の学習と関係が深いページにおいて、「歴史アイコン」「公民アイコン」を示し、他分野の学習に活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「世界の諸地域」は、62ページ、「日本の諸地域」は、78ページ、「資料・統計等」は、58ページであり、総ページは198ページで、前回より約5%増となっている。 				
内容の構成・排列、分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の各州に、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、修学旅行や平和学習に活用できるイラストの入った地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年） ○ 地図帳の見方・使い方を解説した「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」を掲載したり、SDGsについて考察できる「SDGsアイコン」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。（全学年） ○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年） 				
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、北方領土について多くの一般図や資料図を掲載し、千島列島の周辺にある島々として、各島の位置や形状などが扱われている。また、旭川市で観測された氷点下41℃の記録が扱われている。 				
指導上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、北方領土について多くの一般図や資料図を掲載し、千島列島の周辺にある島々として、各島の位置や形状などが扱われている。また、旭川市で観測された氷点下41℃の記録が扱われている。 				

	<ul style="list-style-type: none"> ○ I C Tの活用については、二次元コードを掲載し、「地図の基礎・基本」や「地域別資料」、「統計資料」など、生徒が自らの学習内容を深める際の足掛かりとなるコンテンツが多数用意され、学習内容の習得や調べ学習がしやすいよう工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、鳥瞰表現を用いた親しみやすい地図の掲載や、「地図帳の使い方」を具体的に示すなど、小学校で身に付けた技能を生かせるよう配慮がなされている。
本市生徒の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、歴史や公民・修学旅行など多目的に活用できる地図を掲載するとともに、「歴史・公民アイコン」を設置する工夫がなされている。また、世界の州、日本の地方ごとに「基本資料」を設け、各地域の自然環境や土地利用、降水量などの資料を掲載し、三分野全ての学習で活用できるよう工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、1月と8月の降水量を表す地図の掲載や、2つの年代による変化を読み取らせる活動を日本各地域の資料に位置付けるとともに、関連性の深い資料とのつながりを示す「リンク」マークを設け、複数の資料を関連させて見ることができるよう工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、自然、産業、歴史など、様々な情報を地図上に掲載し、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付くよう配慮がなされている。
その他	